

まどか 通信



社会福祉法人 まどか
〒720 - 0032 福山市三吉町南一丁目 7 番 9 号
☎ 084 - 928 - 1643 (Fax 兼用)
E-Mail : madoca1643@nifty.com
<http://madoca1643.style.coocan.jp/>
<http://www.facebook.com/madoca1643/>

令和 6 年 11 月 1 日

第 7 7 号

発行責任者 : 神谷 和孝
発行 : 社会福祉法人 まどか
編集責任者 : 高橋 恒二郎
(2月・5月・8月・11月 発行)



～ ささやかな誕生プレゼント ～

理事長 神谷 和孝

私の誕生日は10月25日、従ってなりたての85歳です。

私は85歳まで生きられるとは思っていなかったので、85歳の誕生日は今までにない、特別な誕生日として当日を迎えた。

当日、私の誕生日を祝って、数人の友人・知人より祝いの手紙や電話をいただき、更に私の喜びを盛り上げてくれた。

でも、私の誕生日の最大の喜びは息子2人の誕生プレゼントだった。市内に住む長男は新米を美味しく食べて、と新式の炊飯器を誕生祝として届けてくれた。

次男は福山から離れた地において、誕生祝いに箱詰めの明石焼きを送ってくれた。私の好物の一つに明石焼きがあるが、福山には明石焼きの店がなく、時々、たまらなく明石焼きを食べたくなる時があり、そのことを知っていて色々と探して送ってくれたそう。

この文を読んでくださっている皆様には、炊飯器や明石焼きがどう考えても誕生日のプレゼントとは結び付かないかもしれないが、2人の息子の気持ちが私に伝わってきて、これほど受け取って嬉しい誕生日の贈り物はないと思っている。

私はプレゼントは相手に自分の気持ちを伝える手段であり、その品がぜいたく品、高価な品でなくささやかな品でも、心を込めたものであれば良いと思っている。

85歳を迎えた私だが、まだ自転車で走り回っていて、もう少し長生きしたいとも思っている。ただ長生きするのが目的ではなく、社会の発展に少しでも役に立てればと頑張りますので、ご支援ください。

あほっぴすみれ工房



厳しい暑さがいつまで続のかと思えば、あっという間に紅葉の季節が来ました。でも、相変わらずジリジリと夏のような陽射し・・・☀️ 加えて朝晩の寒暖差に、と長かった夏の疲れも加わって体調を崩している利用者さんもちらほら。年末に向けて体調に気をつけていきましょう！

Facebook では毎月の様子と詳細もお知らせしていますので巻末のQRからご確認ください。

空き状況（11月1日現在）

移行支援

・・・若干名

継続支援B型

・・・要相談

前号で1年振りだったこのコーナーですが、引き続き紹介しきれなかった利用者さんの自己紹介コーナーです。今年度上期、前年度末頃から見学や体験利用の問い合わせも多くあり、新しくすみれ工房の利用になられた方は9名も！👏引き続き選んでいただける事業所となるよう、スタッフ一同頑張ります！

★利用者さん紹介★



☆ S. y. さん ☆

趣味：筋トレ

特技：ボウリング

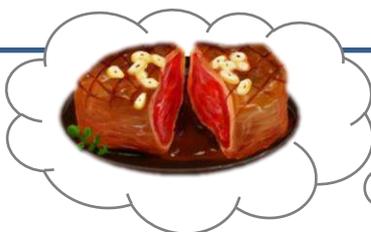
好きな食べ物：ステーキ

嫌いな食べ物：納豆

頑張っていきたい作業：コバック

挑戦していることや挑戦してみたいこと：旅行

意気込みをどうぞ！！：一緒に作業する時、よろしくお願いします！



☆ 匿名 さん ☆

趣味：ゲーム、動画編集

特技：ダンス

好きな食べ物：肉、魚、やさい、くだもの

嫌いな食べ物：かぼちゃの皮

頑張っていきたい作業：エフピコせいそう

挑戦していることや挑戦してみたいこと：たっきゅう、ゲーム



☆ テル さん ☆

趣味 : Amazonで買い物

特技 : 最近は料理

好きな食べ物 : 肉系

嫌いな食べ物 : 甘にんじん

頑張っている作業 : コバック (ボルト)

挑戦していることや挑戦してみたいこと : 続けて週5日すみれ工房へ行く。料理。



旬をむぎるっ♪

梨狩り

すみれ工房の一階玄関(下駄箱付近)に『ご意見箱』を設置しています。困っていることや気になることだけではなく、「こうなれば良いな」ということや「ココのこういうところは、こんな風にして欲しい」といった要望まで様々な声を届きやすくしています。

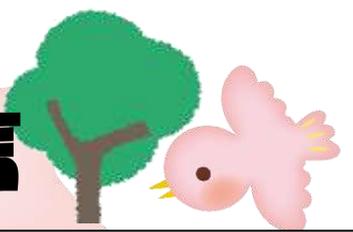


また、月に一度、第3土曜日に定例ミーティングで企業の方から受託している作業の進捗や毎月の予定などの他に、『ご意見箱』に寄せられた声についても話しています。そして、9月のミーティングでは「ぶどう、梨狩りの予定を希望!」と力強く書かれていた『ご意見箱』の声を踏まえて、ミーティングに参加された利用者さんの希望も確認させてもらい、初めての実施となりました。





とまり木通信



地域活動支援センター とまり木は、福山市で唯一の 3 型強化事業の施設として、誰にでも通いやすい「居場所」を提供しています。18 歳以上で福山市にお住まいの方で、雇用契約を結んでいない方ならどなたでもご利用いただけます。発達障害グレーゾーンや HSP、境界知能の方も安心してご利用いただける場所です。

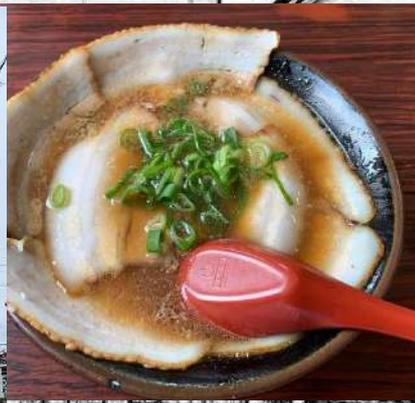
ラーメン行ってきました

笠岡ラーメン 「中華そば坂本」



笠岡ラーメンは鶏ガラスープで、トッピングには鶏のチャーシュー、メンマと長ネギが乗っています。スープは見た目濃い醤油っぽいのが食べてみるとあっさりしていて、何杯でも食べられそうな味わいです。古い店構えは懐かしさを感じさせ、清算時には「勝手に清算機」と呼ばれる手動(?) 清算機があり、ユニークな体験ができました。鶏ガラベースのあっさりしたラーメンは、こってり系が苦手な人や女性にも食べやすいと好評でした。

尾道ラーメンほんてん



「尾道ラーメンほんてん福山店」は、とまり木から徒歩 10 分ほどの場所にある、清潔で居心地の良いラーメン店です。店内は完全禁煙で、家族連れや一人でも入りやすい雰囲気なので、誰でも気軽にラーメンを楽しむことができます。看板メニューは、甘辛いスープと平打ち麺が絶妙に絡み合い、サクサクの豚の背脂がアクセントになったラーメンです。中でも、どんぶりからはみ出るほど大きなチャーシューが乗ったチャーシュー麺は、ニンニクがたっぷり入っており、ボリューム満点で大満足一杯です。その他にも、モヤシやニラがたっぷり入ったチョイ辛のほんてんラーメンも好評で、スタミナをつけたい方におすすめです。利用者の皆さんも「とても美味しかった」「また来たい」と大満足の様子でした。

社会福祉法人 まどか 令和5年度 事業報告

(令和6年3月末現在)

○実施行事 観桜会(4月)、BBQ(6月)、クリスマス会(12月)、避難訓練(10月、2月) ※行事については、法人全体または事業所別で感染症等に留意しつつ実施。	
○その他 福山市医師会看護専門学校 第一看護学科 臨地実習 受入 福山平成大学 福祉健康学部 福祉学科 精神保健福祉援助実習 受入	
障害福祉サービス事業(すみれ工房 および 就労定着支援事業所すみれ工房)	
就労移行支援事業(定員:6名)	就労継続支援(B型)事業(定員:14名)
○利用者の状況 利用契約者数: 2名(男性2名、女性0名) 平均年齢: 42.50歳、一日平均利用者数: 3.01人 就労者数: 3名 ○職員の状況 管理者1名(兼) サービス管理責任者1名(兼) 就労支援員 非常勤1名(兼)、職業指導員 常勤1名、生活支援員 非常勤1名(兼)	○利用者の状況 利用契約者数: 31名(男性25名、女性6名) 平均年齢: 43.10歳、一日平均利用者数: 14.74人 年間平均月額工賃: 12,033.3円(旧算定式による) ○職員の状況 管理者1名(兼) サービス管理責任者1名(兼) 職業指導員 常勤2名、生活支援員 常勤1名 目標工賃達成指導員 非常勤2名(内1名兼)
就労定着支援事業	
○利用者の状況 利用契約者数: 3名(男性3名、女性0名) 延べ来所面談件数: 23件、延べ電話相談件数: 71件、延べ企業訪問件数: 18件 ○職員の状況 管理者1名(兼)、サービス管理責任者1名(兼)、就労定着支援員 非常勤1名(兼)	
地域活動支援センター事業(とまり木)	
○利用者の状況 利用契約者数: 56名(男性35名、女性21名) 一日平均利用者数: 14.02人 ○職員の状況 施設長 常勤1名 生活支援員 常勤1名、非常勤1名 ○実施プログラム ミーティング(不定期) ※各種活動は利用者の希望に沿って実施	

社会福祉法人 まどか 令和5年度 決算報告

(令和6年3月末現在 単位:円)

貸借対照表

資金収支計算書

事業活動計算書

科目名	合計
資産の部	
流動資産	42,108,202
固定資産	51,200,564
資産の部合計	93,308,766
負債の部	
流動負債	5,920,931
固定負債	10,286,000
負債の部合計	16,206,931
純資産の部合計	
基本金	3,424,478
国庫補助金等特別積立金	16,241,095
その他の積立金	200,000
次期繰越活動収支差額	57,236,262
純資産の部合計	77,101,835
負債及び純資産の部合計	93,308,766

科目名	合計
事業活動による収支	
事業活動収入(1)	56,187,151
事業活動支出(2)	48,861,462
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	7,325,689
施設整備等による収支	
施設整備等収入(4)	0
施設整備等支出(5)	888,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 888,000
その他の活動による収支	
その他の活動収入(7)	134,669
その他の活動支出(8)	500,503
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 365,834
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	6,071,855

前期末支払資金残高(12)	31,003,416
当期末支払資金残高(11)+(12)	37,075,271

科目名	合計
サービス活動増減の部	
サービス活動収益(1)	54,269,007
サービス活動費用(2)	50,084,772
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	4,184,235
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益(4)	1,918,144
サービス活動外費用(5)	52,443
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,865,701
経常増減差額(7)=(3)+(6)	6,049,936
特別増減の部	
特別収益(8)	0
特別費用(9)	1
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 1
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	6,049,935
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	51,386,327
当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	57,436,262
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	0
その他の積立金積立額(16)	200,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)-(14)-(15)+(16)	57,236,262

～ これからの家族会 ～

バラ会副会長 田和桂子

みんなネットの第16回全国大会が、10月12日（土）、北海道で開催されました。北海道浦河町にはベテルの家と言って1984年に設立された精神障害をかかえた当事者の地域活動拠点があります。「誰もが自分の悩みや苦勞を担う主人公になる」という伝統の下、当事者主体の運営を行っています。その実践から学ぶことは大変多くありますが、この度の大会のメインテーマは家族会の活性化についてでした。

バラ会は、昭和40（1965）年に結成されてから来年で60年を迎えます。結成から「まどか」立ち上げ当時は会員も多く活動も活発だったようですが、現在は会員の高齢化に伴って会員数もだんだん減っていき、将来的な存続も厳しくなっています。

今回の全国大会の特別講演は淑徳大学准教授 伊藤千尋氏による「家族会の可能性～変革は小さな声から～」というものでした。この講演からバラ会の今後の在り方について学ぶことが大変多くあったと思います。ここでは、その趣旨を簡単に紹介いたします。

1. 精神障害者家族をどうとらえるか

- ①社会資源として：家族が本人をケアすることを当然ととらえる
- ②協働者として：本人の回復のために家族を支援者と協働する人としてとらえる
- ③クライアントとして：本人だけでなく家族も援助の対象者としてとらえる
- ④共に生きる者として：ケアラーという枠を超えて共に生きる者としてとらえる

私たち家族は、今まで①、②の立場で本人のために頑張るのが当然と思ってきたのではないのでしょうか。けれども、先生は③、④としてとらえることが忘れがちであり、むしろこのとらえ方が大切ではないかと話されていました。だからこそ、家族が集まって支え合うことが必要で、家族自身の人生を元気に生きていくことを取り戻さなくてはならないのです。

2. 全国家族会調査から見えてきたこと

2012年の全国家族会調査ではすでに2割の家族会で「衰退・休会」の状態でしたが、一方で「安定・発展」の家族会は当時3割あったそうです。先生は、家族会が高齢化や衰退が指摘されてきたにも関わらず、60年以上続いているということは家族会の「分かち合い」の意義が時代を超えても必要とされ家族を支え続けてきたからだと言われました。

3. 変革は小さな声から ～障害の社会モデルで考える～

「障害の社会モデル」とは、障害者が直面する困難や生き辛さは社会や環境に起因しているのだから、社会が責任をもって障壁を取り除かなければならないという考え方です。これは障害者権利条約の理念と重なります。

「障害のある人が機会を奪われ、生き辛いのは“心身の欠陥”のせいではなく、

健全者中心の社会がバリアだらけであるから」

(松原めぐみ『社会モデルで考えるレッスン』より)

バラ会はこの社会モデルの理念のもとに、福山市へ要望書を提出しています。社会変革への道はまだまだ厳しいものがありますが、私たち家族が寄り合い、支え合い、声を上げていくこと無しに実現することはありません。小さな声でも集まれば大きな声になります。この声が当事者の中だけでなく支援者にも響き、社会へのメッセージになることに希望を持って、これからの家族会をより活性化していきたいと思います。

2025年（令和7年）3月22日、講演会の開催を予定しています。

これからの地域包括支援とは ～「にも」包括の実現に向けて～

講師：川崎医療福祉大学 教授 長崎和則先生

会場：まなびの館ローズコム 4階大会議室

この講演には、当事者家族だけでなく福祉関係者、教育関係者、医療関係者等に幅広く参加を呼び掛けるつもりです。精神障害医療福祉に関わるより多くの方たちと共に、これからの家族会が歩みを進めることができたらと思っています。

～「善意」のお知らせ～

今期も「法人まどか」および「すみれ工房・とまり木」、そして「福山市精神保健福祉家族会（バラ会）」に多くの皆様よりご厚志・物品提供および作業支援をいただき、誠にありがとうございました。（順不同・敬称略）

★ 法人まどかへの善意

・岡田美枝・高橋恵子

★ 法人まどかへのボランティア

・岡田美枝・國貞将志・村田紀美子・精神保健福祉ボランティアグループ「そよかぜ」

★ 福山市精神保健福祉家族会（バラ会）への善意

※ 匿名でのご寄附も頂いております。ご厚情につきましては記録に万全を期しておりますが、脱漏がございましたら失礼の段、ご容赦いただきますようお願いいたします。

仕事を探しています

こんな仕事は頼める？
どこまでやってもらえるの？
まずは、ご連絡ください！

見学・体験利用

どんな場所か見てみたい…
どんな事をしているの？
気軽にお問い合わせください！

ボランティア

何かできないかな？
一緒に手伝いたい…
ご連絡をお待ちしています♪

今後の予定（令和6年11月以降、令和7年1月まで）

12月	クリスマス行事（予定）
12月28日	仕事納め
令和7年 1月4日	仕事始め

その他行事は、事業所毎に感染症対策をしつつ実施していきます。

編集後記

朝晩の冷え込みが厳しくなりました。理事長の巻頭言からはじまり、バラ会副会長田和さんの「これからの家族会」、すみれ工房やとまり木の活動紹介など、今回の紙面も盛りだくさんの内容です！前号で紙面の都合上掲載できていなかった令和5年度の事業および決算報告も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。また、とまり木では、「くらしの相談窓口」を開設しています。生活の困りごとなど、お気軽にご相談ください。（とまり木 施設長 長谷川徹）

Facebook



HomePage

